



佐野厚生農業協同組合連合会

佐野厚生総合病院

〒327-8511 栃木県佐野市堀米町1728番地

☎ 0283-22-5222

🏥 病床数：531床 🏥 診療科：21科



地域の急性期医療を担うため 進化・発展し続けている病院です

5 疾病5事業に 感染症を加えた 6事業を担う急性期中核病院

佐野厚生総合病院は佐野市の急性期医療を支えるため、2022年9月に慢性期病棟を閉鎖して急性期病床を増床。ケアミックス型病院から急性期病院へと転換し、「5疾病5事業に感染症を加えた6事業をやりきる中核病院」を使命に取り組んでいます。

「栃木県がん診療連携拠点指定病院」として高度ながん診療の提



病院長・研修センター長

むらかみ まろひと

村上 円人 先生

出身地 | 神奈川県

出身大学 | 慶應義塾大学医学部(1984年卒)

供や、小児・周産期医療の充実も図り、産婦人科では小児科医や糖尿病専門医のサポートによりハイリスクな出産にも対応。他領域においても高度医療を提供できる体制を整えています。

さらに、地域の災害医療対策の充実に向けて「DMAT」を立ち上げ、2022年4月には「地域災害拠点病院」に指定。COVID-19対策では、「第2種感染指定病院」として横浜港のクルーズ船の患者を県内で早く受け入れて以来、重点医療機関として感染症に立ち向

かい、地域の一般医療も守ってきました。

当院は地域のの中核病院として多彩で豊富な症例数を有しています。診療科間の垣根は低く、初期研修では幅広い臨床経験によって基礎力と総合力を確実に習得することができます。さらに当院は内科専門プログラムの基幹病院であり、3年目も継続して研修を続けることができます。各専門内科が一つの体制としてまとまっているため、たとえばサブスペシャリティである腎臓専門医と糖尿病専門医を同時に取得することも可能です。

人材は病院のエネルギー 一人ひとりが 活躍できる病院に

ここ数年で若い医師や看護師も増え、当院は活気にあふれています。人材は病院のエネルギーであり、若い人材が集まる魅力ある病院にするには、優れた医療チームの構築とイノベーションが大切だと考えています。

私は福沢諭吉氏の「半学半教」（上下関係なく、互いに学び教合う）の精神を、組織の在り方や教育体制の土台としています。パワハラを根絶し、年功序列ではないスキル重視の評価により責任



と誇りをもって働くことができます。病院、そして教えあひながら学び、共に成長できる病院を目指しています。

また、手術支援ロボット「ダヴィンチ」や県内で一番新しいX線循環器診断システムの導入といった医療機器の刷新、そして「ICT化」によるインベージョンも積極的に進め、医師一人ひとりの意欲と能力を十分に発揮でき、高いモチベーションをもって働くことができる環境も整備しています。

“鉄は熱いうちに打て”と言われるように、初期研修の2年間は全ての診療科を学ぶことができ、

たくさんの失敗体験によって大きく成長できる大切な期間です。研修医のみなさんには、急性期病院として進化・発展を続ける当院の医療環境を十分に活用していただき、多くのことにチャレンジしてほしいと思います。



豊富な症例数と自由度の高さが特徴。 教育体制も職場環境も素晴らしい病院です



研修医2年目

小野田 怜依 先生

出身地 | 東京都
出身大学 | 慶應義塾大学医学部(2022年卒)

個々の多様性に柔軟に対応した 自由度の高い研修プログラム

研修病院選びの条件として、都市部の病院ではなく、研修医であっても主戦力の一人として多くの症例を経験できる地域の基幹病院を探していました。佐野厚生総合病院は出身大学の関連施設ということで知っていましたし、佐野市の急性期医療を支える中核病院であるため多彩で豊富な症例が集まることや、当院に近いことにも魅力を感じ、当院での研修を強く希望しました。

自由度が非常に高く、多様なニーズに対応できる研修プログラムが特徴であり、国が定める必須の診療科や期間をクリアできれば、

希望の診療科を自由にローテートすることが可能です。研修スケジュールは変更も柔軟に対応していただけますし、研修中に志望科が変わっても融通や調整が利き、個々の多様性や目標に合った最適なローテーションを組むことができます。

研修医は一年6名と、病院規模(531床)に対する研修医数が少ないことも魅力です。同じ診療科を2人同時に回ることはなく、症例の取り合いも一切ないので、存分に症例や手技を経験することができます。各診療科で経験した症例や学びを研修医室に持ち帰り、情報交換や相談をし合ったりとお互い支え合いながら成長できる環境です。

進化・発展し続けている病院 雰囲気の良いも抜群です

当院は積極的に新しいことを取り入れ、目に見えて進化・発展し続けています。

地方にありながら、産婦人科や小児科も非常に充実しており、手術支援ロボット「ダヴィンチ」や心臓カテーテル室にはX線循環器診断システムの最新機器が導入されるなど、ここ数年で設備環境も刷新されています。2022年にはDMATも確立し「地域災害拠点病院」の指定になるなど、地域を支える急性期病院としてどんどん充実化が図られています。スタッ

フのみなさんは自信と誇りを持って働いていますし、院内は活気にあふれ、研修医のモチベーションも非常に高いです。

看護師や多職種との連携も密で、関係性も良く、アットホームな環境も魅力です。みなさん話しかけやすい雰囲気です。聞けば丁寧に答えてくださるなど、こうした環境は研修医にとって大きな安心ですし、とても心強いです。

当院は医療環境、職場環境、教育環境と、どれも素晴らしい、研修の場としてこれ以上ない最適な病院であり、自信をもってお勧めします。

研修病院を選ぶ際に大切なのは、病院見学によって雰囲気が自分にとって合っているかどうかを知ることです。ぜひ一度、当院に見学に来ていただき、雰囲気の良さも実感してほしいと思います。

